

CASBEE[®]-建築(新築) | 評価結果 |

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)アヴニール紺屋町	階数	地上6F
建設地	鳥取県米子市	構造	RC造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	60人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	共同住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年2月 予定	評価の実施日	2021年3月31日
敷地面積	757㎡	作成者	原 成人
建築面積	400㎡	確認日	2021年4月1日
延床面積	2,144㎡	確認者	川口 俊光

外観パース等
図を貼り付けるときは、
シートの保護を解除してください。

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.6

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.7

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.1

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.9

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.5

3 設計上の配慮事項	
総合	型枠兼用の断熱パネルを使用し断熱性能を確保し、居住者の快適な生活確保と省エネルギー化に努めている。
その他	特になし。
Q1 室内環境	遮音性能に優れた計画である。内装仕上げ材にはすべてF☆☆☆☆建材を使用しシックハウス対策に努めている。外壁内壁には等間隔に通気口を設け、躯体と内装材間の除湿、通気を図っている。
Q2 サービス性能	受水槽やバルクは地上に設け維持管理しやすくように配慮。
Q3 室外環境(敷地内)	商店街側にはフェンスを設けず商店街を行き来しやすい計画とした。
LR1 エネルギー	共用廊下の照明はセンサー付きLED照明とし、照明不要時は消灯する計画とする。ガラスは複層ガラスを採用している。
LR2 資源・マテリアル	再生クラッシャーランを採用。
LR3 敷地外環境	商店街側前面道路の石畳みを防滑化する。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される